土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　福山沼隈線道路改良工事に伴う業務委託（8工区）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　道路 橋梁・高架

ボーリング名	B-1-9	**調査位置**	広島県福山市草戸町半坂地内			**北緯**	34° 28′ 12.6762″
発注機関	広島県東部建設事務所 福山幹線道路建設事業課			**調査期間**	2019年 10月 28日 ～ 2019年 10月 30日	**東経**	133° 21′ 5.8971″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 11.09m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	11.00m					**使用機種**	**試錐機** 東邦DO-D
							エンジン ヤンマーTF-100M　**ポンプ** 東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
	10.39	0.70		シルト混じり砂		褐			新生代第四紀	(盛土)表層の0.30mは耕作土でやや粘性を有り，全体に植物根混入。不均質にシルトを混入する中砂～極粗砂土体。含水は小である。
1				シルト質砂		褐～褐灰	rd2			シルト分を多含する未固結な粗砂～極粗砂を主体とする。含水は中位～大で，深度3.00m付近が特に大である。下方ほど砂分が多く粗くなる。深度2.80～2.90m間はシルトの薄層を挟む。
2										
3	7.59	3.50								
	7.09	4.00		砂礫		褐灰	rd3			φ5～40mmの亜角礫を30～40%混入。基質は未固結なシルト混り粗砂～極粗砂。含水は中位～小。
4				礫混じり砂		褐灰	rd3			φ5～10mmの礫を10%程度混入し，シルトを不均質に混入する粗砂。含水は中位～大で深度5.0m付近は特に大。深度4.55～4.7m間，深度4.9～5.0m間は暗色でシルト分が多い。
5	5.74	5.35								
	5.34	5.75		砂礫		灰				
6	5.09	6.00		強風化花崗岩		淡黄			中生代白亜紀	φ5～50mmの亜角礫を30～50%混入。基質はシルト混り極粗砂で含水は中位。
				風化花崗岩		黄灰				指で潰せるマサ主体のDH級岩盤。
7	3.79	7.30								花崗岩の風化部。岩石組織明瞭で指で何とか砕ける固結マサ主体。ハンマー軽打で濁音し岩芯まで黄褐色化，暗色包有物を局所的に含む。DH級岩盤。
8				風化花崗岩		黄灰				花崗岩の風化部。岩石組織明瞭で，ハンマー軽打で濁音し，容易に砕ける。コア肌はやや粗く，岩芯まで黄褐色を呈する片～短柱状コアを主体とする。暗色包有物を局所的に含む。CL級岩盤。
9	1.39	9.70								
10				花崗岩		黄灰				ハンマー軽打で濁音～鈍い金属音。コア肌はやや粗く岩芯はかすかに黄色化。短柱状コアを主体とする。暗色包有物を局所的に含む。CM級岩盤。
11	0.09	11.00								

孔内水位／測定月日：10/30 10/31

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
2	1.65	1/150	1/150		2/300		
2	2.95	2/150	1/300		3/450		
15	2.60	5	5	5	15/300		
12	3.15	4	4	4	12/300		
21	4.15	5	6	10	21/300		
167	5.15	50/90			50/90	90	
250	6.10	50/60			50/60	60	
	7.05	貫入	不能		50/0		
	8.00	貫入	不能		50/0		
	9.00	貫入	不能		50/0		
	10.00	貫入	不能		50/0		
	11.00						

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験
1.65	9P-1	⊖	物理
2.95	9P-2	⊖	物理
2.60	9P-3	⊖	物理
3.15	9P-4	⊖	物理
4.15	9P-5	⊖	物理
4.45			
5.15			
5.45			

原位置試験

削孔月日：10/28　10/29　10/30